



最先端技術を知りビジネスに活かす！

よく分かる！

近未来テクノロジー2019

使い
放題

- ☑ 10の最新テクノロジーが学べるパッケージコース！
- ☑ 基本的な仕組みから活用事例までを分かりやすく解説！
- ☑ 各テーマが約10分完結なので学習しやすい！

近未来テクノロジーの豊富な活用事例を紹介！



…使い放題サービス対応コース



学習期間／学習時間

学習可能期間：30 日間 標準学習時間：110 分
(1コース約10分×11コース)

監修・共同開発

一般社団法人 未来技術推進協会

ご利用価格

1名 (ID) につき **¥ 3,300-** (税込)

【よく分かる！ 近未来テクノロジー2019 学習コース一覧】

コース	概要
オープニング：概論	急速に発展を遂げているテクノロジーの現在、その背景、今後、社会にどのような影響を及ぼす可能性があるのかを解説します。
1. AI（人工知能）	近年、AIが実用化されるようになった背景や、テクノロジーの仕組みを解説。日常生活にもみられる、AIを活用した製品や、ビジネスシーンでの導入事例を紹介しします。
2. ディープラーニング	AIが普及するきっかけとなったテクノロジーであるディープラーニング。その仕組みをもとに、工場での導入事例、将来の可能性を紐解きます。
3. データサイエンス	近年、注目されているデータサイエンス。銀行や酒造メーカーでの活用事例を紹介し、他のテクノロジーと融合する可能性に触れていきます。
4. IoT（Internet of Things）	スマートフォンの普及により、急速に発展しているIoTの基本知識や、その課題を解説します。多岐にわたる活用分野を確認できます。
5. 3D・4Dプリンティング	製造業や建設業に変革をもたらす可能性のある3D・4Dプリンティングについて、その歴史や特徴を説明します。3Dプリンターの5つの方式にもとづいた事例と、4Dプリンターテクノロジーの活用可能性を紹介しします。
6. xR（AR／VR／MR）	AR・VR・MRの違いや課題、活用事例を解説します。今後期待される、医療業界や災害・危機管理対策などでの活用可能性を予想していきます。
7. ブロックチェーン	知っているようで中身がよく分からないブロックチェーンを正しく理解できます。仮想通貨においてどのように活用されているのか、その仕組みを解説。エンターテインメントや保険会社などでの活用事例も紹介しします。
8. FinTech（フィンテック）	IT技術による金融系ソリューション、FinTechが浸透している背景を理解できます。他のテクノロジーとの関連性を確認しながら、身近なキャッシュレス決済・家計管理や、企業における活用事例を紹介しします。
9. セキュリティ	情報通信技術の発展により重要度が高まっているセキュリティ。最新の動向を把握したうえで、必要となる対策や今後の課題などを解説します。
10. ロボティクス	産業用から家庭まで活用が進むロボティクス。その基本概念や関連用語、そしてこのテクノロジーがもたらす社会への影響などを紹介しします。

各コース、3ステップでわかりやすく学習！

① 基本理解

基本用語からの分かりやすい解説により、テクノロジーの仕組みがわかります。

② 活用事例

実際の活用事例を、写真やイラストを見ながら、具体的に学ぶことができます。

③ 活用可能性

近い将来に予想される、テクノロジーの発展と活用可能性を予想していきます。

基本理解 活用事例 活用可能性

1. 基本理解

AIの仕組み「学習」と「推論」

① 学習フェーズ

② 推論フェーズ

基本理解 活用事例 活用可能性

2. 活用事例

データを活用した日本酒の製造

過去の作業をデータで収集・分析を行うことで「味」を生み出すポイントを特定する。職人が長年の経験で培ってきた「勘」に再現性を生み出すことで、1年目の新人でもマニュアルを元にベテランと同じことができるようになる。

参考資料：「観望について」 酒造協会の会報 <https://www.asahi-hisaku.co.jp/assai/history.html>

基本理解 活用事例 活用可能性

3. 活用可能性

「工場の完全オートメーション化」

原料の入手から加工、工程管理や出荷まで、すべてが自動化された工場が現れる。AIを活用すれば、機械のメンテナンスまで自動で行うことが可能になる。

「高度な義手・義足の開発」

筋肉が発する電流を感知し、物を掴むことができる義手などの開発が進んでいる。

参考資料：「義肢ロボット」 <https://www.yokawa.co.jp/product/robotics/>
Exo株式会社ホームページ <http://exo-hub.com/>

お問合せ・お申込み・
お見積り等はこちら



一般社団法人 日本経営協会
開発センター eラーニング担当

☎ 03-3403-1522 ✉ e-learning@noma.or.jp

